平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	英語4(English4)【清水クラス】		授業コード	A027852	
担当教員名	清水 孝子		科目ナンバリン グコード	A20308	
配当学年	2	開講期	後期		
必修•選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意また は履修条件	履修生はプレイスメントテスト(レベルラに出席する。課題(プロジェクト)に積極	チエックテスト)を受け 返的に取り組む心構え	、その結! えのある学	果に応じて決め 生が履修する	られた講義 こと。
受講心得	受け身の姿勢で授業に取り組むのでは	はなく、課題にチャレン	ンジすると	いう積極的な姿	姿勢が必要。
教科書	ENGLISH UPLOAD (Robert Hickling (金星堂、1995 円) 「英語3」で使用した教科書を引き続き				
参考文献及び指定 図書	適宜、参考図書を指示します。				
関連科目	英語1、英語2、英語3、英語5、英語6	S			

授業の目的	本学の学位授与の方針に沿う適切なコミュニケーション能力を育成するために、「英語4」の授業の目的は、大学生にとって基本的な文法の学習を中心に基礎的な英語力を身につけてもらうことにあります。練習問題を通して、英語の4技能をバランスよく育成し、日常生活でよく使われる「英語らしい表現」を学びながら、自己表現の基礎力を習得していきます。学期末には、これまでの学習をもとに発表の場を設けます。
授業の概要	テキストの各ユニットはタスク中心の練習問題によって構成されており、練習問題をすることによって、基礎的なリスニング・スピーキング・ライティング・リーディングの4技能の力をつけていきます。さらに、毎回、実際の自己表現の場を設け、学生同士でコミュニケーションの実践を行います。各単元に即した英語の歌の聞き取りもします。

〇授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : プレイスメントテストテスト	
第 2 週 : 授業説明、事前アンケート実施	復習:振り返り(1h)
	予習:教科書の予習(1h)
第3週:Unit 13 Did You Bring the DVD? & English Song	復習:振り返り(1h)
場所と移動を表す前置詞	予習:教科書の予習(1h)
第 4 週: Unit 14 Meat, Corn, Fruit and Drinks	 復習:振り返り(1h)
Wh−疑問文	予習:教科書の予習(1h)
第 5 週:Unit 15 We Look Pretty Silly & English Song	復習:振り返り(1h)
a, an, the ∕ one と ones	予習:教科書の予習(1h)
第 6 週:Unit 16 It Was Profesor Goodman & English Song	復習:振り返り(1h)
他動詞と自動詞	予習:教科書の予習(1h)
第 7 週:Unit 17 Are You Free on Monday? & English Song	
能動態と受動態	予習:教科書の予習(1h)

第8週:Unit 18 I Think I'll Buy It 8	復習:振り返り(1h)		
形容詞	onic to 1 mink in buy it & English bong		
,			
第 9 週:Unit 19 For Your Legs and	復習:振り返り(1h)		
助動詞と不定詞		予習:教科書の予習(1h)	
第10週:Unit 20 My Dad's Old Desk	op & English Song	復習:振り返り(1h)	
形容詞の比較級と最上級		予習:教科書の予習(1h)	
第11週:Unit 21 Ladies First! & Eng	lish Song	復習:振り返り(1h)	
副詞		予習:教科書の予習(1h)	
第12週: Unit 22 I Just Hope We Ge	There & English Song	復習:振り返り(1h)	
等位接続詞		予習:教科書の予習(1h)	
第13週:Unit 23 Let's Hope We Get	There	復習:振り返り(1h)	
関係詞		予習:教科書の予習(1h)	
第14週:Unit 24 Let's Do That!		復習:振り返り(1h)	
So do I. や Neither do I. などの表現		予習:発表の準備(2h)	
第15週:Group Presentation		復習:期末試験準備(3h)	
 第16週:期末試験(これまでの内容)		
(1)授業の形式	「演習等形式」		
授業の運営方法 (2)複数担当の均	場合の方式		
(3)アクティブ・ラ	ーニング 「アクティブ・ラーニ	ング科目」	
地域志向科目 該当しない			
備考			

〇単位を修得するために達成すべき到達目標		
【関心·意欲·態 度】	ターゲットとなる文法の形や用法に関心を持つ。	
【知識・理解】	ターゲットとなる文法の形や用法を理解する。	
【技能・表現・コミュニ ケーション】	ターゲットとなる文法などを使って自己表現をする。	
【思考·判断·創 造】	現代的テーマや日本文化を扱った英文を通して、身近な日常の問題について深く考えてみる。	

〇成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評 価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」 を含む。		10点	25	点
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	3 0			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点	15	点
【 思考・判断・創造】 ※「考え抜くカ」を含む。		10点		

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会 に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安		
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安	
レポート・作品等 (提出物)	授業に積極的に取り組み、課題提出への評価3点×15=45点+発表10点+知識理解30点	
発表・その他 (無形成果)	授業に欠席したり遅刻・早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。(15点)	